

予算編成過程の公開を
 予算の編成過程を公開する自治体が
 増えている。編成過程を公開すること
 で、行政運営の公正性・透明性が、事
 実として裏付けられる。全国市民オン
 ブズマン連絡会議は、予算編成過程の
 透明度調査を実施し、結果を公表して
 いる。公開することへの法的な制約は
 なく、公開への考えを問う。
質問 公開している自治体を、どのよ
 うに評価しているか。
市長 それぞれ各自治体の考え方なの
 で、評価する立場にない。
質問 羽村市も、編成過程を公開して

はどうか。
市長 予算編成は10月から始まり2月
 にまとまるが、その間、制度改正・財
 源の変化などで査定額が変わる。公開
 することで、市民に混乱を与える恐れ
 があり、また、公開する目的が明確で
 なく、公開は考えていない。
自治基本条例の制定を
質問 地方自治法の改正案では、総合
 計画策定の義務付けが撤廃され、法的
 根拠が消滅する。自治基本条例を制定
 し、条例中に第五次長期総合計画の最
 上位性を規定すべきではないか。

市長 法律改正がなされた場合の選択
 肢の一つだが、現行法の規定に沿って
 作業を進め、議決を得て策定する。
質問 条例規定をしなければ、総合計
 画体系の最上位性が失われるのでは。
市長 法的な位置づけは失われるが、
 市の最上位計画であると考えている。
質問 10年間の計画期間を通じた財政
 計画は出されるのか。
市長 少子高齢化、世界的な景気後退、
 国の制度改革など、不確定要素が多く、
 10年間の財政推計は難しい。前期5か
 年の基本計画を定め、5か年の財政推
 計を長期総合計画審議会に出していく。



▲羽村市役所

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
 (公明党)



◇生活弱者をなくす施設の維持管理
 ◇新・美しいまちづくり基本条例を
 ◇市民パトロールセンターについて

**生活弱者をなくす、戦略的な公共施設
 の維持管理について**

質問 高齢化、少子化の予測は。

市長 75歳以上の人口は、現在の約4
 千400人が、14年後には、約8千90
 0人へと倍増するとみられ、高齢社会
 へ急速に進むと予測している。

質問 高齢者等に配慮しての地域集會
 施設などの公共施設のバリアフリー化は。

市長 今後も順次、進めていきたい。
質問 高齢者等に配慮した道路の修繕、
 バリアフリー化は。

市長 今後必要な箇所から、高齢者
 等に配慮した道路の改修を行っていく。
質問 公共施設等の集中暖房を個別暖
 房へ切り替えては。

市長 空調調設備の更新時に、個別
 方式を採用する方向で検討していく。
**罰則規定を盛り込んだ新・美しいまち
 づくり基本条例の制定を**

質問 小作駅、羽村駅周辺の路上喫煙
 の制限について。

市長 路上喫煙の動向を見極めながら、
 禁煙エリアの設定有無を検討していく。

質問 動物との共生の観点から、美し
 いまちづくりをどのように進めるか。

市長 動物との共生という視点に立ち、
 ボランティアの協力を得る等、様々な
 手法等について、今後、検討していく。

市民パトロールセンターについて

質問 NPO法人の設立について、ど
 のように聞いているか。

▲青色回転灯が装備されたパトロール車



市長 市民の防犯意識の高揚を図り、
 安全で安心なまちづくりを目指すため
 の中核を成すNPO法人の設立を目指
 していると聞いている。
質問 NPO法人設立後、行政との関
 係および法人の将来的展望は。
市長 将来的には、NPO法人がすべ

ての面で独立し、これまで行政が担っ
 てきた安全・安心に関する事業の一部を、
 市民主体で立ち上げたNPO法人に
 担っていただくことができるよう期待
 する。

すずき たくや
鈴木 拓也 議員
 (日本共産党)



◇本気になって子育て支援の充実を
 ◇羽村駅西口区画整理見直し今こそ

本気になって子育て支援の充実を

質問 認証保育所、認定こども園など
 の利用料は高いままで仕方がないと考
 えているか。

市長 利用者のニーズに応えた独自
 サービスや、幼児教育と保育を一体的
 に提供するなど、特色があり、利用料
 に付加される部分があると認識してい
 る。

質問 補助制度をつくり、安価に利用
 できるようにすべきではないか。

市長 これらの施設を利用していない
 家庭との公平性を欠くので考えていない。

質問 学童クラブの開・閉時刻を延長
 するべきではないか。

市長 時間延長は、児童にとって負担
 が増えることから、慎重に検討し
 ている。

質問 子ども一人一人に目が届く学童
 クラブにするため、正規職員の配置、
 建物・施設の充実を行うべきでは。

市長 正規職員の配置は考えていない。
 建物などの充実、施設の補修などを



▲23年4月1日に開所した栄第二学童クラブ

市長 権利者の意見要望は可能な限り
 反映されたものになったと考える。
質問 1次案への意見書のうち何パー
 セントが反映できたのか。
市長 数値化していない。
質問 前回の議会で、「現在の街並みを
 生かした」整備手法を検討することを

提案したが、検討することにしたか。
市長 市の将来を見すえ、安全性、快
 適性に優れた総合的なまちづくりを目
 指し、区画整理法にもとづく市街地再
 編計画として取り組んでいる。